

# 鳥取市女性応援つながりサポート事業【鳥取市】

個別事業費	1,171千円
交付金額	750千円

## 地域の実情と課題

本市が令和3年度に行った「生理にする悩みや困りごとについて」の市民アンケートで、生理に関する悩みだけでなく、妊娠・育児・更年期などライフステージによる環境の変化や人間関係などの悩みを抱えていること、さらに相談しづらい現状が分かった。これを受け、令和4年度より、講演会やワークショップ等を通じて居場所や人とのつながりの構築、電話やSNSを活用した相談窓口の開設等を実施した。地域に根ざしたNPO等の知見を活用し、困りごとを抱える女性への支援を行っていく必要がある。

## 目的・目標

- 【目的】  
社会との絆やつながりの回復、孤独や不安を抱えている女性への支援。
- 【目標】  
相談件数 90件(アウトカム) → 実績504件

## 事業の特徴

不安や悩みを抱える女性が社会との絆やつながりを回復することを目的に、気軽に相談できる機会や居場所を提供し、孤独の防止や不安の解消につなげた。具体的には、鳥取市男女共同参画センターを活用した相談窓口・居場所づくり(交流会や講座他)、アウトリーチ型支援(訪問相談や声かけ)を行った。また話しやすいきっかけづくりとして、生理用品の提供を行った。  
さらに相談を受けるスタッフの養成講座を実施し、相談者との信頼関係の構築、子育て支援における寄り添いについて学び、スキルアップを図った。

## 連携団体

地域に根差して活動を行っている市民団体に事業委託し、行政に届きにくい困りごとを抱えている方の相談を気軽に受けていただくことができた。また市民団体の知見や経験、ネットワークを活用することで幅広い取組ができた。  
鳥取県東部と兵庫県北部で構成された「連携中枢都市圏」である「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏」(鳥取県鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、新温泉町)の構成町に、事業周知を図った。

## 事業の効果

SNSを活用した予約制相談窓口の開設や、鳥取市男女共同参画センターで交流会や講座を開催し、些細な悩みでも気軽に相談できる場を提供した。妊娠・出産・更年期などライフステージに伴う悩みや、人間関係、生きがい、身近な人に相談しづらい悩みなど、多様な相談が寄せられた。利用者からは「話を聴いてもらうだけで落ち着いた」「子育て中の孤独感が和らいだ」などの声が寄せられ、困りごとの解消や居場所の提供につながった。生理用品の提供をきっかけに、女性特有の健康相談等があり、相談しやすい環境づくりができた。スタッフの研修や情報交換を通じて、対応スキルの習得とメンタルケアが図れた。

## 今後の課題

日常の悩みや女性特有の悩みが多く寄せられたことから、相談内容を整理し、悩みを共有し支え合える自助グループの開催など、柔軟で多様な居場所の提供が求められる。また生活支援が必要なケースや複合化した相談に対応するため、相談員のスキル向上とスタッフのメンタルケアが必要である。

# 事業の概要

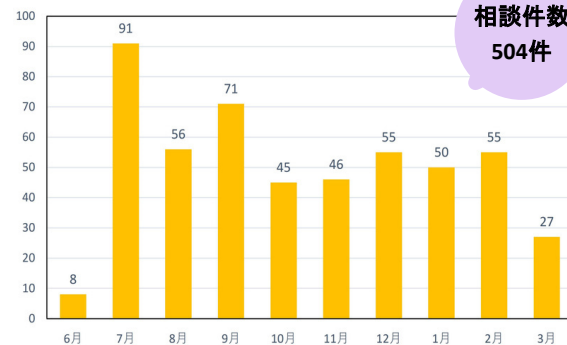
## 鳥取市女性応援つながりサポート事業

女性の困りごとを相談できる場所の提供を行い、気軽につながり悩みや不安を解消及び共有できる居場所を提供し、女性が自分らしくいきいきと活躍できる機会の創出を図りました。

↓鳥取市男女共同参画センター機関紙第44号掲載



相談件数 (R7.6.26~R8.3.13)



### ◆困りごと等話すことのできる居場所の提供

～とっとりつながり-な～

SNSなどを活用した予約制の相談窓口を開設  
地域食堂での予約不要の相談対応  
訪問や声掛けによる相談対応  
生理用品の提供をきっかけとした相談対応

### ◆利用者の相互援助を促す居場所の提供

～こころとからだをみつめるゆっくりわたし時間～

受動喫煙と美容のお話を聞いた後、「妊活、産後、更年期」のグループ分けにより交流を実施

### ◆鳥取市男女共同参画センターを活用した相談窓口・居場所づくり

～とっとりまるゆう きんさいな～

交流会や講座などの開催

### ◆相談を受けるスタッフの養成講座

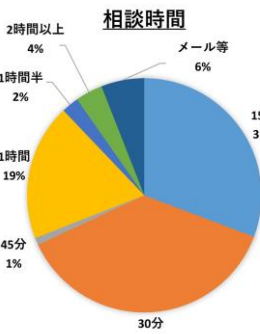
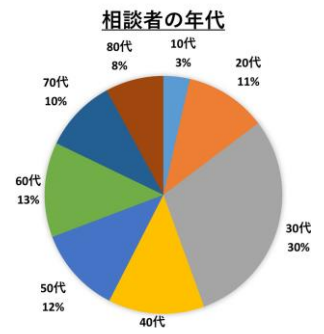
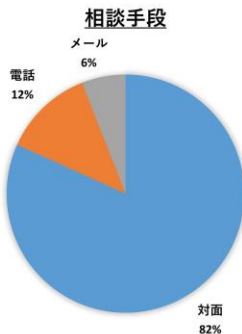
心理カウンセラーを講師に、講演による「子育て支援と相談者の心得」研修を実施。

### ◆対応後のアンケートの実施

「話を聞いてもらうだけで落ち着いた」「子育て中の孤独感が和らいだ」などの感想があった。

★寄せられた相談は、家事・育児・介護の女性への負担によるものが多く、「固定的な性別役割分担意識」が依然として課題であることがわかった。地域や行政による継続的な男女共同参画の取組推進が求められる。

★女性特有の悩みも多く、孤立と自己責任感、環境や社会的要因により将来への不安が増しており、継続的かつ伴走による支援が求められる。



悩みを共有することで不安の軽減が図られるものや、女性特有の悩み、将来への不安など、多様な相談が寄せられた。こうした個々の環境に起因する課題については、SNSやインターネット上の情報だけで解決を図るのではなく、対話を通じて丁寧に情報を共有することが重要。相談者に寄り添った対話を通じて情報共有を図ることで、相談者の安心感につながり、課題解決や適切な支援につなげることができた。